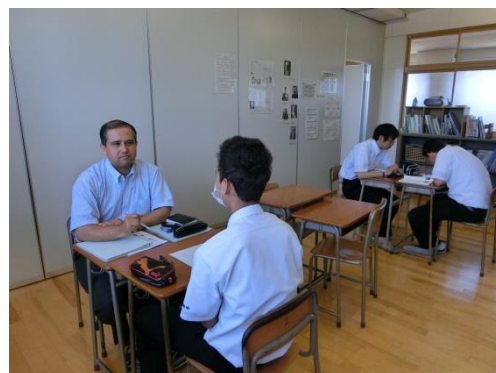


知立南中学校の外国籍生徒支援

本校は外国籍を持った生徒が多く在籍しています。現在1年生32人、2年生11人、3年生33人、合計76人です。（4月12日現在）その中には、日本語の語学力が十分でないために教科への取り組みが困難な生徒もいます。そこで本校では、日本語指導を中心に、外国籍生徒への支援体制を高め、安心して学校生活を送ることができるよう努めています。



(1) 日本語指導が必要な生徒に対して

- ・ 日本の生活習慣を教え、日本の学校への適応を支援しています。
- ・ 日本語指導を取り出し授業、教室内支援等の形で行っています。
- ・ 生徒個々の実情にあわせた相談や個別指導を行っています。

(2) 支援の体制と手立て

日本語指導担当教員スタッフ4人と教科担当教員27人と、知立市日本語指導助手1名、総勢32名で、支援をしています。

<学習支援等の仕方>

4月から、日本語の力に応じてグループ分けします。

●初期指導：来日してからの日が浅い。日本語での日常会話が難しい…初期指導

●日本語教室での指導：小学校で習う漢字の習得が確かでない。漢字の読み書きはできるが授業についていくのは困難…日本語教室での取り出し支援

特に外国籍生徒には難しい「日本の歴史・地理・公民」と「漢字の読み書き」「文章の読解」の力を高めるために「社会科」と「国語科」の時間に、日本語学習室に移動して学習しています。教科書の読み、要点の説明、漢字、語句などの基礎的内容の反復学習と問題練習が中心ですが「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの視点を意識して支援を行っています。「母学級」の生徒は、在籍学級の授業を通常通り受けませんが、必要に応じて進路や学習、生活面などの個別指導や相談活動を行っています。

●母学級での指導：日本人生徒と一緒に学習できる…必要に応じて個別対応をします。

	初期	日本語教室	母学級	計
1年	4人	11人(国・社 6時間 数1時間)	16人	31人
2年	4人	2人(国・社 6時間 数1時間)	5人	11人
3年	4人	9人(国・社 6時間 数1時間)	17人	30人
8・9組			4人	4人
計	12人	22人	46人	76人

(3) 地域・大学との連携

外国人生徒支援に当たっては、地域支援活動や大学との連携も行っています。知立団地で開講されている日本語支援教室「みらい」（毎週木曜日18時開講）には、本校の生徒が参加しています。

(4) 進路への取り組み

外国籍生徒の進路指導には、保護者や生徒自身の考えをよく聞き、相談しながら進めています。家庭訪問や懇談会には適宜通訳として指導助手が同席して意思疎通をはかります。進学希望の生徒は十分な学力をつける必要があります。私たちは生徒が将来を切り開いていけるよう、可能な限りの支援をしていきます。